

PRESS RELEASE

2017. 1. 11

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第41回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、毎四半期ごとに県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,204社にアンケート調査を実施し、1,196社から得た回答（有効回答率99.3%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感は2期連続して県内全地区で改善、先行きは悪化」

【概況】

平成28年10～12月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成28年7月～9月「以下同」）の▲15.8から▲9.2へとマイナス幅が縮小し、6.6ポイントの改善となった（以下「マイナス幅の縮小」を「改善」、「マイナス幅の拡大」を「悪化」という）。

業種別にみると、サービス業が▲1.0ポイント（▲2.9→▲3.9）の悪化がみられたものの、卸売業が12.0ポイント（▲27.7→▲15.7）であったほか、小売業が8.4ポイント（▲36.6→▲28.2）、製造業が7.9ポイント（▲14.1→▲6.2）と多くの業種で改善がみられた。

これを地区別にみると、全地区で改善している（地区別の詳細は次頁のとおり）。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2014年		2015年				2016年				2017年
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3(見通し)
東部地区	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲21.3
中部地区	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲8.5
西部地区	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲11.5
県内計	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲14.1

なお、平成29年1～3月の業況見通しは、中部で▲9.1ポイント（0.6→▲8.5）、東部で▲8.3ポイント（▲13.0→▲21.3）、西部で▲1.9ポイント（▲9.6→▲11.5）と全地区で悪化見通しとしていることから、県全体では▲9.2から▲14.1へと、▲4.9ポイントの悪化予想となっている。

■東部地区

東部では、建設業は横ばい ($\Delta 3.6 \rightarrow \Delta 3.6$)、サービス業は $\Delta 17.0$ ポイントの悪化 ($1.9 \rightarrow \Delta 15.1$) となったものの、製造業は 11.6 ポイント ($\Delta 12.6 \rightarrow \Delta 1.0$)、卸売業は 12.9 ポイント ($\Delta 51.6 \rightarrow \Delta 38.7$)、小売業は 12.2 ポイント ($\Delta 43.2 \rightarrow \Delta 31.0$)、不動産業は 12.5 ポイント ($\Delta 3.1 \rightarrow 9.4$) それぞれ改善となったことから、全業種ベースの業況DIは前回調査時の $\Delta 19.0$ から $\Delta 13.0$ へと 6.0 ポイント改善している。

製造業

業況は、取扱製品によってバラつきはあるものの、自動車関連を中心に売上・受注状況は安定してきており、改善している。

今後の見通し(平成29年1~3月期・以下同)としては、売上・受注は安定傾向にあるものの、同業者間の競争激化や人手不足などによる先行き不安から、やや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・自動車関連部品は、好調であり売上も安定している。 (金属プレス部品)
- ・ものづくり補助金を利用した設備の導入により、機械化による効率化を推進している。(精密モーター部品製造)
- ・国外(中国)への販路拡大に注力している。 (清酒製造)
- ・各種展示会やホームページ等によるPR活動に力を入れている。 (ウォータークーラー・スチーマー製造)
- ・売上は堅調に推移しているが、収益向上のため、コンサルを導入した。 (紙器製造)

卸売業

業況は、年末に向けた季節的な要因等もあり、前回調査時に比べて大幅な改善となった。

今後の見通しは、依然として同業者間の競争激化からの売上の減少や利幅の縮小を問題点として挙げる事業者が多いものの、景気回復への期待感等から引き続き改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・第二東名付随工事に伴う受注増加に期待している。 (建設資材卸)
- ・オール電化の普及によりガスの売上は減少しているため、災害用発電設備などの販売に注力している。(ガス卸)
- ・一時的な中国向け輸出価格の上昇により国内販売価格が安定しない。 (古紙卸)
- ・天候不順による仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できていない。 (青果卸)
- ・直売の台頭により、流通経路が大きく変化しつつある。 (青果物卸業)

小売業

業況は、改善となったものの、消費の冷え込みを要因とした売上の停滞により、依然として低調に推移している。今後の見通しとしては、大型店やネット販売との競合から、更なる売上・利益の減少を懸念しており、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・天候不順による仕入価格高騰で利幅が減少した。 (青果小売)
- ・天候・気温が不安定であったため、季節商品の売上が芳しくなかった。 (飲食料品小売)
- ・大型量販店より迅速な対応、きめ細やかなサービスで差別化を図っている。 (電気製品小売)
- ・鮮魚及び惣菜の質により、大手スーパーとの差別化を図っている。 (鮮魚等小売)
- ・高齢化や若い人のバイク離れで販売台数は減少傾向にある。 (自転車・バイク小売)
- ・常連さんの高齢化により新規顧客の獲得が課題となっている。 (宝飾品・時計類小売)

サービス業

業況は、材料価格の上昇を販売価格に転嫁できず、売上・収益が減少した事業先が多く、前回調査時と比べて

悪化となった。

今後の見通しとしては、更なる材料価格の上昇や同業者間の競争激化による 売上・収益の減少懸念から悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・底引網の乱獲、海水温の上昇等の要因により、年々漁獲高が下がっている。 (釣り船業)
- ・「遊び」の多様化で市場規模が縮小、大手との競合に勝てず売上は減少の一途。 (遊技業)
- ・専門店としての技術力から固定客はあるが、大手の安価な店に徐々に客足は取られ経営環境は厳しい。 (クリーニング店)
- ・1~3月は閑散期となるが大型遊具の設置、各種イベントを行い集客に努める。 (ドライブイン)
- ・テレビドラマのロケで使用され、12月の予約は例年以上に入っている。 (旅館)
- ・悪天候による野菜の値上がりが非常に厳しい。 (旅館)

建設業

業況は、大手企業や首都圏からのオリンピックや新東名関連の受注は増加傾向にあるが、同業者間の競合や人手不足に伴う労働コストの増加等の要因により収益状況は厳しく、横ばいで推移した。

今後の見通しとしては、急激な円安による資材の高騰や競合による利幅の減少等の懸念から、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・太陽光パネルの需要は減少している。 (建築板金)
- ・大手企業の設備工事は増加しているが、人材が不足している。 (空調工事)
- ・手離れの良いリフォームに特化しているが、大手の参入もあり以前より利幅は減少している。 (住宅建築)
- ・公共工事は増加しているが、民間工事は減少している。 (総合建設)
- ・受注は順調であるが、下請け職人の確保が難しい。 (タイル工事)

不動産業

業況は、商品不動産の不足や販売単価の減少は否めないものの、緩やかではあるが不動産の動きは回復傾向にあり、改善となった。

今後の見通しについては、同業者間の競争激化に伴う売上の減少等による懸念により、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・宅地分譲は市街化調整区域等の地価が安い場所に人気が集まっている。 (土地販売)
- ・販売価格は低下しているが、その分早期に売却できている。 (土地販売)
- ・情報の収集力、提供力が安定した収益の確保に繋がっている。 (不動産仲介・売買)
- ・前年と比べ、中国人等の不動産購入者が少なくなった。 (不動産売買)
- ・市外の業者が新規に参入するなど、営業エリアを拡大している同業他社が多い。 (分譲地販売)

■中部地区

中部では、製造業が▲4.5 ポイント悪化 (3.1→▲1.4) したものの、サービス業が横這い (0.0→0.0)、その他業種はいずれも改善 (卸売業▲23.1→9.5、小売業▲43.5→▲33.3、建設業▲4.5→5.0、不動産業 20.0→45.5) したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲7.3 から 0.6 へと 7.9 ポイントの改善となり、プラスに転じた。

製造業

業況は、売上額や受注残などが増加したものの、人手不足による人件費の増加などから、収益は減少しており、全体では悪化となった。

今後の見通しとしては、同業者間の競争激化などから売上額や受注残の減少が懸念され、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 自動車部品の受注が増加傾向にあるが、収益性が乏しい。材料支給による生産販売であるため、作業効率を考え機械設備の見直し、作業効率を検討し人件費節減を図る方針。 (輸送用機器部品製造)
- ・ 求人をしても集まらない。残業時間が増加しており、従業員への負担が増大している。 (配電盤製造業)
- ・ 売上、収益共に増加しており、業況も良い方向に向かっている。今後も堅調な推移が見込まれる。原材料価格については波があるものの、一定の収益は確保できる体制が構築されている。 (鰹節・削り節製造業)
- ・ 鮪の漁獲量が減少している中 売上、利益共に確保している。鮓も取扱っており今後売上獲得に向け、社員教育に力を入れていきたい方針。 (水産加工(さば・鯵)業)
- ・ 地場産業の木材を活かした町起こしの機運が高まっており、期待している。 (建築材製造業)
- ・ 歳暮シーズンに入り繁忙期であるが、例年と比較し受注は減っている様子。ペットボトルの普及や外国茶葉の進出等により、同社を取り巻く環境は厳しい状況であるが、新規先確保の為、今後も営業活動に注力していく。 (製茶・緑茶製造業)
- ・ 既存先からの受注数量の減少が目立ち、売上の停滞、減少が懸念される。 (冷暖房機器部品製造業)

卸売業

業況は、売上額、受注残に増加が見られ、全体では大幅な改善となった。

今後の見通しとしては、大手企業との競争激化や親企業による選別の強化などから、売上高、受注残、収益の悪化を見通しており、全体としては大幅な悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 例年 年末にかけては需要期となり売上高が増加するも、年明け以降の売上は厳しきの予想をしている。新工場を建設し平成29年3月以降に稼働を目指すも、新生産体制の構築は容易ではなく、慎重な見通しをたてている。 (マグロ卸売業)
- ・ 国内の需要が低迷する中、メーカーは増産しており、大手小売業への販売競争が激化し販売価格が下落している。 (食料品卸売業)
- ・ 売上重視から収益重視へと経営方針を変更し引き続き利益率の良い海外直接仕入を並行し、利益重視の事業展開を継続していく。現在、仕入価格が上昇しており、販売価格を見通していく。 (水産物卸業)
- ・ 鉄スクラップ市場(価格)は持ち直しを見せており、前回調査時と比較し業況は改善している。アメリカ大統領選挙後の世界経済(特に新興国、資産保有国)の動向に注視が必要と考える。 (鉄スクラップ卸売業)

小売業

業況は、売上額、受注残、販売価格などの増加・上昇により、全体としては改善となった。

今後の見通しとしては、販路拡大への取組み強化などから、引き続き売上額、受注残、販売価格などの改善より、全体としては改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ エビ、カニ等の海外での需要が伸びており、商品不足が懸念される。 (鮮魚小売業)
- ・ 業況は安定して推移している。現在 静岡県内、神奈川県、愛知県に46店舗あり今後もM&A等店舗増をしていく計画。 (スーパー(生鮮食料品))
- ・ 新型レジを導入し、オンラインの記帳が可能となり、仕入れの精度向上による収益性の改善を図っている。 (衣料品小売業)
- ・ 販売量は変化ないが、販売価格の下落により売上高は減少。国際情勢の変化により原油価格の上昇が懸念されおり、今後の動向に注視していきたい。 (ガソリン販売)

サービス業

業況は、販売価格を中心に上昇したが受注残に改善がなく、全体としては横這いとなった。

今後の見通しとしては、経費の増加や同業者間の競争激化などから収益が悪化する見通しにあり、全体としては悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 11月に感謝祭イベントを行った。既存顧客へのダイレクト葉書を事前に通知する等、人を集める活動をしたが、車が行き渡った感があり、景気は悪いと感じる。顧客へのアフターケア等の密な対応を今後も図っていきたい。 (自動車整備販売)

建設業

業況は、材料価格の高騰があるものの、収益、販売価格の増加・上昇から、全体として改善している。

今後の見通しとしては、収益、販売価格などの改善を見込むものの、受注残の減少見通しから全体では横這いの見込み。

(事業者の声)

- ・ 建築部門では民間の大口受注により、売上高は増加傾向にあり、土木部門においても徐々にではあるが、公共事業が増加となっている。 (総合建設業)
- ・ 昨年より受注も多く、売上が増加している。要因として、情報力の収集（金融機関、不動産業）によるもの。今後も情報力を活かしていきたい。 (総合建設業)
- ・ 工事案件はあるが、人材不足から請負が十分できない状況。 (建築工事、土木工事業)
- ・ 設備や借入に頼らず、技術力を向上させ同業他社に対抗していきたい。 (建築工事業)
- ・ 受注する仕事は本来の技術力を生かしたもののは少なく、手間仕事が大半である。見積件数は常時あることから、営業力の強化により多くの受注へつなげることが課題である。 (建築工事業)

不動産業

業況は、収益、販売価格、仕入値などが減少・低下したものの、受注残の大幅改善により、全体としては改善している。

今後の見通しとしては、仕入値の高騰懸念から、全体としての業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 相変わらず海岸部の物件は鈍いものの、それ以外の地区においては、動きが活発な地区もある。 (不動産業(宅地仲介、売買業))
- ・ 地元の物件にも若干動きが出てきており、商品土地として購入している。早期販売も可能となる見込んで売上にも寄与すると思われる。 (土地開発・分譲販売業)

■西部地区

西部では、不動産が▲5.4 ポイント悪化 (▲3.7→▲9.1) したものの、その他業種はいずれも改善 (製造業▲18.1→▲8.9、卸売業▲20.0→▲13.4、小売業▲26.4→▲23.6、サービス業▲10.2→6.1、建設業▲10.0→▲6.1) したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲16.5 から今回▲9.6と6.9ポイントの改善となった。

製造業

業況は、売上、受注、収益、販売価格のいずれも前回調査時より増加・上昇し、改善した。

今後の見通しとしては、ほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・社長自らビジネスマッチングや経営者セミナー等に参加し、取引先や販路拡大に向けて努力している。(紙加工品)
- ・試作品の量産化が決まったため、今後、業況は上向いていく見通しである。 (自動車)
- ・PB商品の開発、販路開拓を積極的に行い売上は増加した。設備投資も補助金制度を積極的に利用している。 (茶葉)

卸売業

業況は、売上、収益、販売価格のいずれも前回調査時より増加・上昇し、改善した。

今後の見通しとしては、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・売上は茶葉の出来に左右されるが、今年は昨年に比べ質が良く好調である。 (飲料)
- ・住宅の需要増加により売上、利益は上昇し、集成材工場の稼働状況も順調。 (木材)
- ・売上は微増だが原価、仕入値が上昇したため利益の確保に繋がっていない。 (食品)

小売業

業況は、売上、収益、販売価格のいずれも前回調査時より増加・上昇し、やや改善した。

今後の見通しとしては、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・惣菜コーナーの充実を図り、集客力向上を目指している。 (食料品)
- ・期間限定商品の売上が好調である。 (菓子)
- ・ネット販売の普及により店売りは停滞している。季節物の売上は温暖化の影響で先が読めず、仕入の判断が難しい。 (衣料品)

サービス業

業況は、売上、収益、料金価格のいずれも前回調査時より増加・上昇し、大幅に改善した。

今後の見通しとしては、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大河ドラマにより宿泊客の増加を期待している。 (宿泊業)
- ・業況は安定しているが、今後は定期的にハウスクリーニングを行う一般顧客を開拓していく方針。 (清掃業)
- ・例年12月は繁忙期だが今年は見通しがつかない状況。主な顧客層が高齢化し大幅な業況回復は期待できない。今後は後継者により若年層の開拓を図っていく。 (理容業)

建設業

業況は、売上、受注、施工高、収益、請負価格のいずれも前回調査時より増加・上昇し、やや改善した。

今後の見通しとしては、改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大型受注は減少したものの、中型工事は増加傾向。一方、現場監督などの人材不足が悩み。 (建築一般)
- ・防潮堤の工事が売上の下支えとなっている。 (建築土木)

- ・他社との競合で利幅は減少傾向。人材を確保し、公共民間とも工事件数を増やしていきたい。 (建築土木)
- ・リフォーム受注はある程度あるものの新規工事は少ない。県内では西部が好調だが中東部は厳しい。(一般建築)

不動産業

業況は売上、収益ともに前回調査時より減少し、悪化した。

今後の見通しとしては、横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・マイナス金利の影響で住宅購入を検討する人が増えている。
- ・同業者間の競争が激しく、情報収集が必要となっている。
- ・最近では、条件の良い土地が減っていることや建売業者が増えていることから、不動産会社が土地を仕入れ、分譲する営業が増えており、仲介業としての売上は減少している。

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話 : 054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2016年10～12月期)						前回調査(2016年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.3%	17.5%	45.4%	28.3%	5.5%	▲ 13.0	2.7%	15.4%	44.8%	31.3%	5.8%	▲ 19.0
中部地区	5.5%	28.5%	32.7%	24.2%	9.1%	0.6	5.6%	22.9%	35.8%	27.4%	8.4%	▲ 7.3
西部地区	2.3%	17.9%	50.1%	24.2%	5.6%	▲ 9.6	2.5%	15.7%	47.2%	26.9%	7.7%	▲ 16.5
県内合計	3.0%	19.2%	46.3%	25.4%	6.0%	▲ 9.2	3.0%	16.7%	44.8%	28.3%	7.2%	▲ 15.8

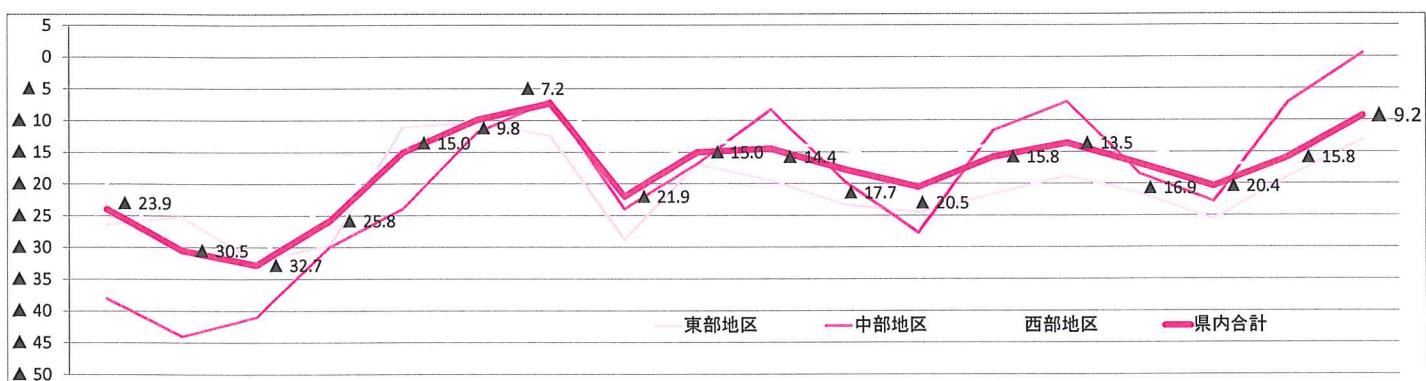
2. 業況予想(全業種)

	2017年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.9%	12.5%	49.9%	29.4%	6.4%	▲ 21.3
中部地区	5.5%	20.0%	40.6%	27.3%	6.7%	▲ 8.5
西部地区	1.8%	14.7%	55.5%	23.6%	4.4%	▲ 11.5
県内合計	2.4%	14.7%	51.7%	25.9%	5.3%	▲ 14.1

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2012年 7～9月期	2012年 10～12月期	2013年 1～3月期	2013年 4～6月期	2013年 7～9月期	2013年 10～12月期	2014年 1～3月期	2014年 4～6月期	2014年 7～9月期	2014年 10～12月期	2014年 1～3月期	2015年 4～6月期	2015年 7～9月期	2015年 10～12月期	2016年 1～3月期	2016年 4～6月期	2016年 7～9月期	2016年 10～12月期
東部地区	▲ 26.4	▲ 25.2	▲ 32.1	▲ 29.6	▲ 11.1	▲ 10.3	▲ 12.4	▲ 28.7	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0
中部地区	▲ 38.0	▲ 44.0	▲ 40.9	▲ 29.9	▲ 23.8	▲ 11.9	▲ 6.8	▲ 23.9	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6
西部地区	▲ 19.8	▲ 30.9	▲ 31.6	▲ 23.0	▲ 15.2	▲ 9.3	▲ 4.6	▲ 18.0	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6
県内合計	▲ 23.9	▲ 30.5	▲ 32.7	▲ 25.8	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 7.2	▲ 21.9	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2016年10~12月期)						前回調査(2016年7~9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.9%	21.4%	46.6%	23.3%	3.9%	▲ 1.0	4.9%	13.6%	50.5%	29.1%	1.9%	▲ 12.6
卸売業	0.0%	6.5%	48.4%	41.9%	3.2%	▲ 38.7	0.0%	0.0%	48.4%	48.4%	3.2%	▲ 51.6
小売業	1.1%	16.1%	34.5%	35.6%	12.6%	▲ 31.0	3.4%	10.2%	29.5%	45.5%	11.4%	▲ 43.2
サービス業	1.9%	15.1%	50.9%	28.3%	3.8%	▲ 15.1	3.7%	24.1%	46.3%	22.2%	3.7%	1.9
建設業	0.0%	21.8%	52.7%	23.6%	1.8%	▲ 3.6	0.0%	21.4%	53.6%	17.9%	7.1%	▲ 3.6
不動産業	15.6%	15.6%	46.9%	18.8%	3.1%	9.4	0.0%	25.0%	46.9%	21.9%	6.3%	▲ 3.1
全業種	3.3%	17.5%	45.4%	28.3%	5.5%	▲ 13.0	2.7%	15.4%	44.8%	31.3%	5.8%	▲ 19.0

2. 中部地区

	今回調査(2016年10~12月期)						前回調査(2016年7~9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	7.1%	30.0%	24.3%	27.1%	11.4%	▲ 1.4	4.6%	32.3%	29.2%	30.8%	3.1%	3.1
卸売業	0.0%	38.1%	33.3%	23.8%	4.8%	9.5	7.7%	15.4%	30.8%	23.1%	23.1%	▲ 23.1
小売業	0.0%	11.1%	44.4%	38.9%	5.6%	▲ 33.3	0.0%	4.3%	47.8%	34.8%	13.0%	▲ 43.5
サービス業	12.0%	16.0%	44.0%	24.0%	4.0%	0.0	12.1%	21.2%	33.3%	27.3%	6.1%	0.0
建設業	0.0%	35.0%	35.0%	10.0%	20.0%	5.0	0.0%	22.7%	50.0%	22.7%	4.5%	▲ 4.5
不動産業	9.1%	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	45.5	10.0%	30.0%	40.0%	10.0%	10.0%	20.0
全業種	5.5%	28.5%	32.7%	24.2%	9.1%	0.6	5.6%	22.9%	35.8%	27.4%	8.4%	▲ 7.3

3. 西部地区

	今回調査(2016年10~12月期)						前回調査(2016年7~9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.8%	20.9%	45.5%	25.5%	6.2%	▲ 8.9	3.2%	15.9%	43.8%	28.6%	8.6%	▲ 18.1
卸売業	1.2%	19.5%	45.1%	26.8%	7.3%	▲ 13.4	2.5%	16.3%	42.5%	26.3%	12.5%	▲ 20.0
小売業	1.4%	12.5%	48.6%	29.2%	8.3%	▲ 23.6	0.0%	12.5%	48.6%	34.7%	4.2%	▲ 26.4
サービス業	4.1%	20.4%	57.1%	14.3%	4.1%	6.1	4.1%	16.3%	49.0%	24.5%	6.1%	▲ 10.2
建設業	4.9%	9.8%	64.6%	18.3%	2.4%	▲ 6.1	1.3%	16.3%	55.0%	20.0%	7.5%	▲ 10.0
不動産業	1.8%	14.5%	58.2%	23.6%	1.8%	▲ 9.1	1.9%	16.7%	59.3%	20.4%	1.9%	▲ 3.7
全業種	2.3%	17.9%	50.1%	24.2%	5.6%	▲ 9.6	2.5%	15.7%	47.2%	26.9%	7.7%	▲ 16.5

4. 県内合計

	今回調査(2016年10~12月期)						前回調査(2016年7~9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.2%	22.3%	42.8%	25.3%	6.4%	▲ 6.2	3.7%	17.6%	43.3%	29.0%	6.4%	▲ 14.1
卸売業	0.7%	19.4%	44.0%	29.9%	6.0%	▲ 15.7	2.9%	12.4%	41.6%	30.7%	12.4%	▲ 27.7
小売業	1.1%	14.1%	41.2%	33.3%	10.2%	▲ 28.2	1.6%	10.4%	39.3%	39.9%	8.7%	▲ 36.6
サービス業	4.7%	17.3%	52.0%	22.0%	3.9%	▲ 3.9	5.9%	20.6%	44.1%	24.3%	5.1%	▲ 2.9
建設業	2.5%	17.2%	56.7%	19.1%	4.5%	▲ 3.8	0.6%	19.0%	53.8%	19.6%	7.0%	▲ 7.0
不動産業	7.1%	18.4%	52.0%	20.4%	2.0%	3.1	2.1%	20.8%	53.1%	19.8%	4.2%	▲ 1.0
全業種	3.0%	19.2%	46.3%	25.4%	6.0%	▲ 9.2	3.0%	16.7%	44.8%	28.3%	7.2%	▲ 15.8

資料 3

・業種別予想

1. 東部地区

	2017年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.9%	20.4%	47.6%	24.3%	3.9%	▲ 3.9
卸売業	0.0%	9.7%	54.8%	35.5%	0.0%	▲ 25.8
小売業	0.0%	5.7%	42.5%	35.6%	16.1%	▲ 46.0
サービス業	1.9%	11.3%	52.8%	28.3%	5.7%	▲ 20.8
建設業	0.0%	9.1%	61.8%	27.3%	1.8%	▲ 20.0
不動産業	6.3%	15.6%	46.9%	28.1%	3.1%	▲ 9.4
全業種	1.9%	12.5%	49.9%	29.4%	6.4%	▲ 21.3

2. 中部地区

	2017年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.7%	20.0%	37.1%	25.7%	11.4%	▲ 11.4
卸売業	4.8%	4.8%	52.4%	33.3%	4.8%	▲ 28.6
小売業	0.0%	16.7%	50.0%	27.8%	5.6%	▲ 16.7
サービス業	12.0%	12.0%	44.0%	32.0%	0.0%	▲ 8.0
建設業	0.0%	35.0%	35.0%	25.0%	5.0%	5.0
不動産業	9.1%	45.5%	27.3%	18.2%	0.0%	36.4
全業種	5.5%	20.0%	40.6%	27.3%	6.7%	▲ 8.5

3. 西部地区

	2017年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.5%	16.9%	52.6%	24.0%	4.0%	▲ 8.6
卸売業	1.2%	14.5%	50.6%	27.7%	6.0%	▲ 18.1
小売業	0.0%	7.5%	55.2%	26.9%	10.4%	▲ 29.9
サービス業	0.0%	10.2%	63.3%	22.4%	4.1%	▲ 16.3
建設業	1.2%	18.3%	61.0%	18.3%	1.2%	0.0
不動産業	3.6%	9.1%	65.5%	20.0%	1.8%	▲ 9.1
全業種	1.8%	14.7%	55.5%	23.6%	4.4%	▲ 11.5

4. 県内合計

	2017年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.2%	18.1%	49.4%	24.3%	5.0%	▲ 8.0
卸売業	1.5%	11.9%	51.9%	30.4%	4.4%	▲ 21.5
小売業	0.0%	7.6%	48.3%	31.4%	12.8%	▲ 36.6
サービス業	3.1%	11.0%	55.1%	26.8%	3.9%	▲ 16.5
建設業	0.6%	17.2%	58.0%	22.3%	1.9%	▲ 6.4
不動産業	5.1%	15.3%	55.1%	22.4%	2.0%	▲ 4.1
全業種	2.4%	14.7%	51.7%	25.9%	5.3%	▲ 14.1